

# 令和3年度事業報告書

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月31日

令和4年 5月20日

学校法人 金蘭千里学園

## 1. 法人の概要

単位：名

項目	高等学校	中学校	備考
設置する学校	金蘭千里高等学校	金蘭千里中学校	
入学定員	180	180	
在校生徒数	548	550	令和3年5月1日現在
教職員数	54	60	令和3年5月1日現在

## 2. 事業の概要

### ・金蘭千里中学校、高等学校における事業の基本的な概要

事業計画に基づき、以下の項目・内容を基本・原則として、教育事業を展開した。

なお、事業計画時の概要において実施を予定した項目のうち、新型コロナウイルス感染症の流行により実施を見送ったものについては、次項に記載した。

男女共学 1学級30人

学習指導

○カリキュラム

併設型中高一貫校としてのカリキュラムによる効果的、効率的学習

英語・数学・国語は、基礎科目として時間増

理科・社会は、広範な科目を履修することによる幅広い進路選択への対応

○20分テスト

通常授業を重視し、月～金曜日に成績評定を決する復習テストを実施し、成績状況を授業や個別指導にフィードバックすることによる学力の向上、定着

○特別授業

学力の補足、練成のための、夏季・冬季・春季長期休業期間における特別授業の実施

生活指導

担任を中心とした個人指導の徹底

スポーツ

○校技

男子はサッカー、女子はバレーボールを校技と定め、6年間を通じた指導により全生徒が共通のスポーツとして習得

○他種目

校技に加え、学年によってテニス、バスケットボール、卓球、ハンドボール、バドミントン、男子バレーボール、女子サッカーを選択履修

国際理解／キャリア教育

○「日常」と「異文化」の相対化と「体験」による「知識」の裏付けによる「弾力的国際人」を育成するためのカリキュラム

○中高6年間の発達段階と生徒の個性と能力に応じた進路指導のため、外部講師による講演や職業体験などを通じた、単なる大学進学指導に止まらない幅広い進路指導

・ネイティブ・スピーカーである教員による英語指導

・外務省や国際機関、外国公館を通じ派遣された専門家による、国際事情の理解を深めるための講演

・民族学博物館の見学による異文化理解

・イギリス海外研修（イートン校・ラグビー校）〈希望者のみ〉

・能楽、狂言、茶事、落語といった日本の伝統文化体験

・本校卒業生による進路決定に至る体験の講演

・職業選択に至るプロセスに関する講義や、医療従事者、起業家等の専門家を招いた講演

□野外活動

○キャンプ・自然研修

各学年キャンプ又は自然研修旅行の実施による自然体験

○徒歩訓練

北摂の自然に触れるオリエンテーリング形式の行事の実施

□情操教育

○音楽鑑賞

国内外の一流のアーティストによる演奏鑑賞の実施

○合唱祭

中学生・高校一年生が運営企画するクラス対抗のコンクールの実施

□情報教育

整備されたICT環境を活用し、eメール、インターネット等の基礎技術の修得や各教科学習の補助に資するとともに、情報化社会に対応する情報処理モラルの涵養

□自主性の涵養

○クラブ活動の充実を図ることにより生徒の多様性に対応するとともに、生徒に多面的な負荷をかけることにより「勉強を頑張りクラブ活動も頑張る」スタイルを確立させ、多彩な活動ができる人材を育成

○文化祭、体育祭の運営を通じ独創性と自発性の涵養

・新型コロナウイルス感染症流行に関する対応、対策及び、事業の変更等

□感染症対策及び教育活動継続に向けた学校運営の概要

- ・昨年度に引き続き、生徒の感染防止策として、登校前の検温実施と検温結果の記録及びその確認、マスク着用や手指消毒など基本的な感染症対策の徹底、昼食時の教員による見回りなどを実施した。
- ・教職員の検温及び検温結果の記録の徹底、外来者への検温などを実施した。
- ・行事の実施については、大阪府教育庁私学課のガイドラインを基に、教育効果と感染リスクを慎重に判断し、収容定員の多い会場の確保、外来者の制限などの対策を講じ、実施内容を精査の上実施するとともに、一部の行事は中止、延期した。

□事業計画において予定していたもののうち、中止、延期又は実施内容を変更した行事等

- ・校外学習は、府県をまたがる移動の制限や受入機関の事情を勘案し、実施内容や時期を精査した上で実施した。
- ・キャンプ行事は、施設の受入れ人数制限や感染症対策が困難なため宿泊行事とせず、日帰りの自然体験行事として代替実施した。
- ・中学校3年生北陸自然研修は感染対策を徹底し、時期を2学期として実施した。また高校2年生の北海道自然研修(3泊4日)は、代替で企画した淡路島研修(1泊2日)と共に高校3年生時に2泊3日で実施することとした。
- ・徒歩訓練は、マスク着用下での実施が困難と判断し、中止した。
- ・合唱祭は、感染対策が困難と判断し、中止した
- ・イギリス海外研修は、受け入れ機関の意向及び渡航困難のため中止した。

・当年度における主な事業計画

□現校舎施設設備の整備、更新

- 現校舎で更新の時期を迎えている老朽化設備の更新を昨年度より順次行う中で、今年度においては3階以上部分の空調設備更新を行う。
- 校舎1階の保健室正面に位置する「発表広場」にパーテーションを設置し、新型コロナウイルス流行症対策を含め重要度の増す保健室の活動をより充実させ、柔軟な対応にも資するとともに広範な学校活動に使用できる多目的スペースとして活用する。

□ 自宅学習支援

○ 本校教育において重要な位置を占める自宅学習の充実を図るため、自宅学習支援プログラムを導入する。自宅学習支援については、全ての生徒が支援を必要とするものではないことから、参加を希望する生徒が対象となるプログラムとする。実際のプログラム運用においては、本校の教育課程、教育方針にのっとったものとし、本校教員との連携を密にすることで単なる外部業者プログラムの導入ではない、本校独自のオンライン学習システムとする。

□ 事務室の会計等ソフト及びIT機器更新

○ 令和3年度末でサポートが終了する現会計・給与・学費システムをクラウド化し更新する。また事務用PC等のIT機器をWindows10へのバージョンアップと併せて更新し、システムの安全性向上と作業性の向上を図る。

□ 校舎新館（仮称）建設にむけた諸準備の実施

○ 校舎新館の建設に関し、引き続き総工費の交渉、検討を行い、諸準備を行う。

・ 当該計画の進捗状況

□ 現校舎施設設備の整備、更新

- ・ 令和3年8月に、空調機器の大半を占める都市ガス空調システムの更新を行った。また校舎全館の照明のLED化を、空調工事と同時施工で実施した。
- ・ 同じく令和3年8月に、発表の広場に開閉式のパーテーション設置工事を行い、保健室業務への活用を中心に、同広場の多目的化による校舎の有効活用を図った

□ 自宅学習支援

- ・ 自宅学習支援プログラムを令和3年4月より導入した。令和4年3月時点で中学生40名、高校生16名が参加している。運営会社と連携して参加生徒の家庭学習状況を把握し、学校における学習指導に活用している。

□ 事務室の会計等ソフト及びIT機器更新

- ・ 現システムのサポート終了を機に、令和3年8月に会計・給与・学費システムをクラウド化した。また事務職員のPCを更新し、システムの安全性向上と事務作業の環境向上を図った。

□ 校舎新館（仮称）建設にむけた諸準備の実施

- ・ 建設費用の高騰などを受け事業費が当初の想定を上回ることとなったため、次年度以降再度第2号基本金の積立を行うこととし、引き続き検討を進めることとした。

以上